

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日	水曜日13:00～14:00	会長	青木恭子
例会場	ANAクラウンプラザ グランコートホテル名古屋	幹事	長谷川芳子
承認	2013年6月18日	公共イメージ 向上	藤谷 猛



世界に希望を生み出そう

2023～2024年度名古屋アイリスRCのテーマ

10年間の礎を力に
情熱の持続と感謝の心で
奉仕と生業に尽力しよう

●お問い合わせ: office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト: http://www.nagoya-iris-rc.jp

第454回 例会

2023年8月23日 13:00～

- 司会 島村恵三 例会・出席・親睦委員
- 斉唱 手に手つないで
- 出席報告 出席者数 13名 / 26名
出席率 50.0%
- ゲスト
- ビジター 名古屋北RC会長 高柳充広 様
名古屋北RC幹事 足立満 様

ニコボックス

- 名古屋北RC 高柳充広 会長
名古屋北RC 足立満 幹事
本日は宜しくお祝い致します。
- 青木恭子 会長
久しぶりの例会で元気な顔とお会いできてよかったです。名古屋北RC 会長、幹事、アイリスへようこそおいで下さいました。安井財団委員長、卓話楽しみです。宜しくお祝い致します。
- 長谷川芳子 幹事
名古屋北RC 高柳会長、足立幹事ようこそアイリスへ。安井財団委員長、本日の卓話宜しくお祝い致します。
- 安井忠 ロータリー財団委員長
甲子園、気になります。北ロータリーの方々ようこそアイリスへ
- 荒山久美 例会運営出席親睦委員長
今日は、ひと回り下の弟の誕生日なので入れさせて頂きます。

会長挨拶



例会のお休みが続きまして夏休みのごようでしたが、特別な暑さや、お盆休みの中、大型台風まで到来して日々落ち着かない毎日でした。9月に入りますとガバナー補佐訪問、ガバナー公式訪問などロータリーの行事も増えてまいります。ロータリアンとしての自覚のもとに互いに友好を深め、奉仕に生業にまい進してまいります。

本日は、名古屋北ロータリークラブから高柳充広会

長と足立満幹事をお迎えしております。お暑い中、またお忙しい中お越しいただきありがとうございます。私どもアイリスロータリーとひとときの時間を楽しんでいただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

名古屋北RC会長 ご挨拶



【名古屋北ロータリークラブ 会長 高柳充広様 ご挨拶】

今年度、名古屋北ロータリークラブ 会長を賜りました高柳と申します。ロータリー歴は十年と10ヶ月ぐらいになります。年齢は北クラブの平均とほぼ同じ61歳半です。職業分類は総合建設業です。皆さんから見ると一応、親クラブの会長と偉そうな立場でございますけれどもまあロータリー歴もそんなにありませんし、クラブの幹事の経験もありません。実は地区に出向したこともありませんので実はロータリーに関する知識が皆さんにはるか及ばないと思っています。そういうことをよく認識頂いて一年間暖かく見て頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

さて今年のRI会長のテーマ「世界の希望を生み出そう」そして酒井ガバナーの地区方針は「培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ」ということです。これを踏まえて今年度の北クラブのテーマは「ロータリアンズ・オブリージュ」とさせて頂きました。これはnoblesse oblige (noblesse oblige) という私が大事にしている言葉の主語をロータリアンに置き換えたものです。有名な言葉なので皆さん、ご高承のことと思いますがnoblesse obligeとは社会的地位を持つ者はそれに応じて果たすべき責任と義務があるとまあ欧米社会における基本的な道徳観を表すフランス語です。新渡戸稲造が欧米社会にむしろ、つまり日本の道徳観を紹介する際に用いた言葉でもあります。

我々ロータリアンもクラブ定款第八条に記載の通り善良さ、高潔さ、リーダーシップを身を持って示し、事業、専門職および地域社会で良い評判を受けており、地域社会および世界において奉仕する意欲のある成人によって構成されるものとする。またオブリージュという言葉には責任と義務を果たすということだけではなく誰かのために尽くして行きたい。つまり超私の奉仕でクラブのインクルージョンを実現できるのではないかと。ただ逆に言うと会員の皆さん誰もが、その

個性やスキルを活かせるような機会・場を提供できる、そういった例会運営を企画して行きたいと言うふうを考えています。アイリスロータリーの中におかれましてはこの一年間の御指導、御支援、ご協力を賜りますようお願いすると共に益々のご健勝を申し上げて、甚だ簡単ではありますが私のご挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

卓 話

演 題：ロータリーの目的

卓話者：安井忠ロータリー財団委員長



【要旨】

ロータリーの目的というのがありまして、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあり、知り合いを広めることによって奉仕の機会とし、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は価値のある物と認識し、社会奉仕する機会として各自の職業

を高潔なものにする。ロータリアン一人一人が日々奉仕の理念を実践すること、奉仕の理念で結ばれた人々が世界的ネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進すること、これがロータリーの目的であり四つのテストとして真実かどうか、皆に公平か、好意と友情を深めるか、皆のためになるか、を理念として国際ロータリアンとなり地域社会のリーダーとなり、人々に奉仕し高潔さを奨励し国際理解、親善、平和を推進するロータリアンとなりなさいとの事がロータリーの使命だそうです。

僕は実は 49 歳で 港ロータリー入れて頂いて 16 年居りました。それから縁あってこのアイリスに来て十年ですけど、これが一番最初に教えられたロータリーの定義っていうんでかね。そんなことで未だに、これ頭に入ってますけど読まなきゃなんとも分かりません。そういうことで、今は三年続いて財団委員長をやらせて頂いております。財団を一言で言いますとロータリークラブは、親睦と奉仕が二本の柱になっている。その内の奉仕のことを財団は言います。皆さまから頂いたご寄付を基とした活動が国際と地域に分けられます。これまでの実現された活動を紹介しながら活動の理解と財団の使命を知って頂き全員の方々が財団へのご寄付をご理解頂き、その資金を使い補助金を活用したプロジェクトの企画を立案するのが財団の大きな使命だと考えております。アイリスロータリークラブは現在も名大病院小児科病棟に対していろんな活動を行っております。そして地区から社会奉仕委員会と協力をし補助金の活用を行って参りました。これは計画書の 23 頁に皆さんよりご 協力を頂いた実績が載っております。

私たちアイリスは年会費の中に、年 150ドルの寄付を入れ込んだ会費で運営しております。全員がポールハリスフェローになっております。財団の中にはポールハリスフェロー、それから恒久基金すなわちベネファクターの二つの枠がどちらも 1000 ドルが基準となっております。私たちは、1000 ドルに達するのに七年掛かりました。そ

して一昨年、8 年目に全員がポールハリスフェローになったわけです。ロータリークラブたくさん数がありますが年会費の中に寄付金が入っているのは、このアイリスが極めて稀です。個人個人があまりご苦労されることなく寄与されていることを知って頂きたいと思っております。ロータリークラブは親睦と奉仕の団体です。財団は奉仕であります。ポールハリス、ベネファクターともう一つ米山記念奨学の基金があります。この三つの柱がロータリーの活動となっているわけでありまして。超我の奉仕は、ロータリークラブの会員の使命であります。どうぞご理解を賜りますようお願いを申し上げて硬いロータリーの話はこんなところであります。



RI会長方針

CREATE HOPE in the WORLD
「世界に希望を生み出そう」

名古屋北ロータリークラブ
2023-2024年度 会長方針

ロータリアンズ・オブリージュ
～全員参加で奉仕とクラブライフを楽しもう～

会長 高柳 充広